

子どもたちに算数の力を！

延永小学校 研究研究推進委員会

現代社会の要請から

今の子どもたちが大人になる頃には、生産年齢の人口減少、グローバル化の進展、AIの飛躍的な進歩に代表される技術革新がさらに進み、将来を見通すことが非常に困難になることが予想されています。特に、AI技術の進展は、これまでに人間が担っていた仕事をAIが取って代わるなど、大きな社会的変化を伴うこととなります。そのような時代の中で、子どもたちがたくましく生き抜くためには、複雑な社会情勢から必要な情報を見極め、他者と協働しながら課題を解決していく力が必要となってきます。

そこで、本校では算数科学習を中心としながら、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、よりよい社会の創り手となる力を育みたいと考えています。「知識及び技能の習得」、「思考力、判断力、表現力等の育成」、「学びに向かう力、人間性等の涵養」を偏りなく実現しながら、未知の課題に対して、これまでの経験を基に論理的に考え、自立的・協働的に解決していく子どもたちの育成を目指します。

研究主題

「進んで考え、互いに学び合う子供を育てる算数科学習指導」

～数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動の工夫を通して～

(本研究で目指す子どもの姿)

	進んで考える子供	互いに学び合う子供
低学年	出合った問題の意味をつかみ、調べたり求めたりするものを考えて、見通しを立て、自分の考えを持つことができる子供。	自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりして、問題を解決できる子供。
中学年	出合った問題と既習の問題を比べ、これまでの数学的な見方・考え方が使えるかどうかを考え、自分の考えを持つことができる子供。	自分の考えを筋道を立てて説明し、友達の考えを比べながら聞き、よりよい考え方をういて問題を解決できる子供。
高学年	出合った問題と既習の問題を比べ、どの数学的な見方・考え方が使えるか選び取り、自分の考えを作ることができる子供。	自分の考えを根拠を明確にして説明し、友達の考えとの共通点や相違点を探しながら聞き、よりよい考え方をつくり上げて問題を解決できる子供。